

容器包装を見直そう

■プログラムの概要

ねらい	• 私たちの出すごみの60%にあたる容器包装の現状を知り、また正しいごみの分別行動を学び理解を深める。 • ごみ問題解決に向けて、個人でできる取り組みについて考えさせ、普段の生活を見直す。		
キーワード	ごみ・資源		
対象	小学4年～中学3年		
時間	50分	実施場所	教室
使用するもの	容器類・包装類各種、ワークシート、資源とごみの分け方・出し方表		
全体の流れ	<ol style="list-style-type: none">1. 導入2. 容器包装って何？<ul style="list-style-type: none">• 容器包装の意味3. 容器包装を見てみよう！<ul style="list-style-type: none">• 素材のチェック• 分別してみよう4. まとめ<ul style="list-style-type: none">• ごみを出さない暮らしについて（3Rなど）		



■進め方

時間	学習内容	指導上の留意点
5分	あいさつ 今日の流れの説明	
10分	<p><容器包装って何？> 容器包装の意味について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> •なぜ必要なのか？ •どんな役割があるのか？ <p><昔の包装の文化> 何を何のために包んでいたのか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> •容器包装の長所・短所、容器包装が無かったときの長所・短所を考えさせる。 •容器包装とは人間の生活の中で、かかすことのできないものでもあることを認識させる。
25分	<p><容器包装を見てみよう！></p> <p>①素材のチェック どんな素材があるのかみてみよう（素材マークの確認）。</p> <p>②分別してみよう！ 板橋区のルールで分別してみるとどうなるのか。班毎に渡された容器包装を分別していく（資源・可燃ごみ・不燃ごみ）。</p> <p>③ごみ分別ルールの確認</p>	<ul style="list-style-type: none"> •実際に様々な容器包装を見ながら、グループ毎に考えるよう指示を出す。 •素材マークの説明をして、素材の確認をするよう目を向けさせる。 •ごみ分別表を見て、答えあわせをし、素材の確認をしながら正確に記入するように指導する。
10分	<p><まとめ></p> <ul style="list-style-type: none"> •ごみを出さない暮らしについて考えて発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> •過剰包装によるごみの増加、資源の浪費に目を向けるようにさせる。 •3Rの重要性についての説明を補足する。 •実際に自ら行動できることを考えるよう指導する。



■使用するもの

物 品 名	数 量	備 考
ワークシート	各自1枚	
容器類	グループ毎	ペットボトル、紙パック、空き缶、トレーなど
包装類	グループ毎	紙箱、紙袋、包装紙など
資源とごみの分け方・出し方表	グループ毎	

■実施にあたって留意する点

- ・容器包装がなくてはならないものもあることを伝える。
- ・本プログラムに関連して、事後に容器包装を用いた工作・風呂敷を使った包み方の体験などを行うとよい。